

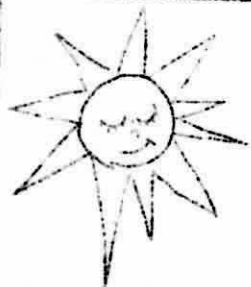
H&S R

NO.9 ☆ いちばんほし

昭和48年1月13日才三種郵便物認可

昭和49年毎月10日発行(毎月10日)

全国難病友の会北海道支部



札幌祭りが終わると北国札幌にしようやく短い夏が訪れます。道内各地のみなさんお変わりありませんか。外出の際は、白かさまつばの帽子をお忘れなく。



会員訪問

札幌医科大学入院中のKさん。3度目の入院で、標準体格にもかかわらず、すいぶんお太りになったとか、筋力がおとろとて、やっと歩けるようになったところでした。1度目の退院時はとても元気で、旅行にも出かけられたそうです。2度目と3度目の入院までの間隔は短く、「退院後 数日間だけでもホームヘルパーの方がいると助かるのですが……」と言われたことが印象的でした。

第2回 難病患者と障害者、家族の全道集会が開かれました。

最初はそのくらい集まるものかと不安でしたが、幸い天候にも恵まれ、会場が満員になるほどの盛会ぶりでした。このことは、今後の難病対策・医療・福祉・障害者対策を前進させるこの上ない力となることはまちがいありません。

膠原病友の会からは9名の出席がありました。その中で、前支部長の森美智子さん(旧姓 白勢)がはるはる千葉から応援にかけつけて下さ

いました。森さんは若奥様らしくおちついた美しさを加えられ、とてもお元気そう。おつとめにも出ていらっしやるとか。また、釧路からはるる出席された丹野さん。甚事お帰りになりましたでしょうか。レタリングの技術を修得中と伺いました。その他にもお忙しい中を参加されたみなさん、本当にご苦労さまでした。又、北大二内の佐川先生、安田先生、勤医協病院の天橋先生にも参加をいただきありがとうございます。私達患者とその家族にとっては、大きな励ましとなっております。

会員参加者： 不谷 真知子 関口 朝子 竹内 雅子 谷口 啓子
丹野 昇 中川 亮子 藤谷 朝子 三森 礼子 森 美智子




函館市・清美耶子さん

前略。昼々のご活躍、陰ながら喜ばせて頂いております。今回のいちばんぼしも読ませていただきました。新入会員としてご紹介頂いておりますが、私が入会させていただいたのは昨年の9月末頃と記憶しておりますけれど……。そう思って今迄のいちばんぼし、ゆっくり目を通してみました。すると、そんなことよりついつい毎日の忙しさで走りよみしていた為、色々なことを読みかとしていたことに気づきました。

何度か入院・退院をくり返すうち、現在は放心状態と息りの毎日です。今回

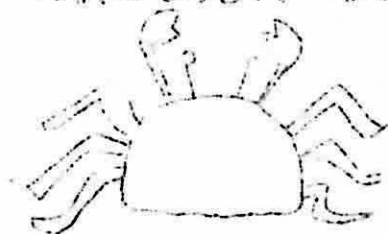
医療受給者証の請求で、お返所の窓口業務の怠慢とその誠意のなさを思い知らされ、組織づくりの重要性を更に確認いたしました。何をやっても結局悪気なで長蛇の列のしない自分を知りぬいておりますので、みなさまのような活動はできないもの。こちらの市内におられる方とお会いし、互いに助け合えるようなつながりを築きたいと思っております。この先2、3ヶ月程は私事で又いそがしくなりそうですが、事後報告、又させていただきます。

季節の変わり目で何となく身体がたるくて、ゆううつな季節ですね。ますますの健康を祈ります。 

網走市・杉山 ふみさん

可憐。服も私達には通しやすい等脚になりつつありますね。

私は昨年の秋に入院して以来同じ様子です。特別良くもなく、また悪くもなくといつところです。この病気が1日も早く完全に治る様な奇跡でもおこらないかしらと、いつもそんな事ばかり考えています。



それから、年度会にも参加したいと思っておりますが、何かに足く、私ひとりで行くことかともうやを、でもみな様にお目にかかりたい。そしていろいろなお話を聞きたい

と常に思っております。調定地区・北見地区には私の知りぬいも2、3人います。みな様、自分がこれほどの難病とは認めたくない。行子なので無理にすすめぬいことにしました。それに若い人が多く(15~20才位)北見日赤の先生は、患者に対してはっきりといわないそうです。幸い私の場合は、札幌から出張で1週単位いらした先王に詳しく聞きました。そして反の会のある

○ 難病連事務所で待っています

先にもお知らせ致しましたが、難病連事務所から月初旬に開設し、新しい事務局長も迎え、伊藤事務局長も精力的に活動しております。三森支隊長は 平日6時〜7時までその事務所におりますので、どうかお気軽にお立ち下さい。

住所 甲斐区大通西8丁目 ^{ビル} 近田ビル 2階

Tel. 261-8026

市立病院

西
8
丁
目

西
8
丁
目

近田ビル

大通り

公園

○ 例会のおしらせ

7月 集団無料検診のためできません

8月 8月4日(木)

9月 総会にかえます

(午後6:00より 難病連事務所。)
(白曜日は出席できない人のために)
平日の夜行います

新入会員紹介

040 函館市昭和町321

一野谷 清美さん 22才 (A.L.E)

一野谷さんは 函館市内の病院に入院しておられましたか、ほっそりとした病名がつかず先入母診によってやっとS.L.Eとわかったところですが、お訪によると同じ病院にはまだほっそり診断のつかない方々がおられるそうです。このような大きな市ですらまだとり残されている患者がいることにおどろくと共に、私達の活動をもっともっと広げなくてはと責任の大きさを痛感しております。

あとがき

6月、7月にスケジュールがゆく例公石町不残念に思っています。また公私ともにあわただしく公報が遅れましたこと深くおれい致します。どうかこれからの暑い夏をなにか楽しんで下さい。これから地方へ出かける予定も立て、みなさんとお会いできることを楽しみにしています。

編集人 全国膠原病友の会北海道支部
札幌市南区 三枝 礼子
発行人 北海道身体障害者団体定期刊行物協会
札幌市中央区北1条東4丁目 本間 たけし

昭和48年1月13日発行(郵便物認可116 K通巻第24号)

昭和49年7月10日発行(毎月1回 10日発行) 1部50円